

山直北地区まちづくりニュース 創刊号

2018(平成30)年10月 発行
発行：山直北地区まちづくり勉強会

山直北地区まちづくり
ニュースを発行します

泉州山手線沿道のまちづくりとして、山直北地区で取り組みを進めている内容や進捗状況等をみなさまにお知らせするために、『山直北地区まちづくりニュース』を発行します。

今後、取り組みの進捗に合わせて、適宜ニュースを発行していきますので、よろしくお願ひいたします。また、最下段に記載しておりますホームページでも、情報を発信しておりますので、ぜひご覧ください。

第1回勉強会が 開催されました

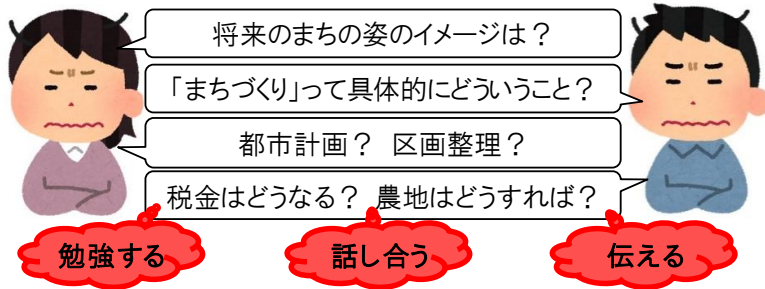
泉州山手線沿道に位置し、幹線道路の結節点となる山直北地区におけるまちづくりについて、地区の皆さまが将来のまちの姿を考え、意見交換等を行いながらまちづくりの進め方について勉強し理解を深めていただ



永野 町会長(世話役)

くために、『山直北地区まちづくり勉強会』を設置いたしました。

設置に当たっては、三田町会及び三田町水利・実行組合にご協力いただき、役員の方々に世話役になって頂いています。



将来のまちの姿のイメージは？

「まちづくり」って具体的にどういうこと？

都市計画？ 区画整理？

税金はどうなる？ 農地はどうすれば？

勉強する

話し合う

伝える

そして、2018(平成30)年9月2日、山直市民センターにて第1回勉強会が開催され、61名の方が参加されました。「勉強会設置の目的や今後の進め方」について事務局より説明し、泉州山手線のような幹線道路ができる場合の一般的な手法である「土地区画整理事業」について、その概要（キーワード：換地 減歩）が、土地区

画整理事業等のまちづくりを専門とするコンサルタントより説明されました。今後、勉強会を通じて将来のまちづくりについて地区の皆さまと検討していきたいと思ひます。なお、当日、いただいた主なご質問、ご意見は次のとおりです。

勉強会の様子



● もっと早くからまちづくりを進めておくべきだったのではない
か。前へ進める話をして欲しい。

→ 泉州山手線については、平成32年度から着手ということで大阪府が検討しています。それに合わせて、沿道のまちづくりを進めていきたいと考えています。

● 区画整理事業となった場合、学校等の公共施設はどうなるのか。工場や産廃施設などが勝手に建ったりしないのか。

→ 公共施設等については、今後別途検討することになりますが、住宅、工場、商業などの土地利用は今後皆さまの意向も踏まえて、環境悪化につながる土地利用がされないように、まちづくりの取組みが必要と考えています。

第2回勉強会：平成30年11月18日(日)
10時～ 山直市民センター

より良い山直北地区のまちづくりのため、皆さまのご協力、ご参加をお願いいたします。

また、現在まちづくりに関する調査のために現地測量を実施中です。ご理解、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

まちづくりに関する内容や取組み状況等のお問合せ・ご相談は下記までお尋ねください。

山直北地区まちづくり勉強会 事務局
(岸和田市まちづくり推進部都市整備課)

電話：072-447-6526

FAX：072-437-9171

メール：machi-yamadaikita@city.kishiwada.osaka.jp

市HP：<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/soshiki/141/yamakita.html>

